

# モダンファニチャーの映える家

**VANX** architect  
住宅設計

ヴァンクス一級建築士事務所  
【住所】岡山市中区江並 428-6  
【問合せ】086-276-9320  
【URL】<http://www.vanx.jp/>



建築家：小川 修市

ゆるく大きな勾配から、ストンと切り欠いたように落ちる独創的な屋根のフォルム。がっしりとした庇が深くせり出し、白壁と焼杉のスタイリッシュな住まいは、実際以上のスケールを感じさせます。室内は落ち着いた天然木の佇まいに、Mさんが以前から好きで集めてきた家具や照明がスパイスとなって、感度の高いインテリアがつけられました。

実は、既に他社でプランが進み手付金も納めていたMさん。しかし日ごと「これでいいのか」という思いが増していき、夫婦で迷いに迷っていたそう。そんなときHPでヴァンクスを知り、悩みのたけを小川さんに相談してみると「一生の家なんだから、あきらめないで。手付金ぐらい余裕で取り返したと思える家がつくれるから、大丈夫」と励まされ、一からやり直す決心がついたということです。

インテリアに造詣の深いMさんが望んだのは「手持ちの家具が映える家」であり、また空間のシンボルとしてどうしても叶えたい「階段」のイメージがありました。小川さんは要望を充分に実現するだけでなく、言葉に現れない思いを汲みとり、豊かな知識と感性でさまざまな提案を施していったのです。例えばLDKの天井は一部板張りにして高さを下げ、さらに余った板を見つけて施工業者と交渉、キッチンカウンターもプランになかった板張り仕上げに、「こういうセンスや機転は、自分からは要望しようもないですね。そこが以前の家づくりとまったく違うところで、私がいちばん求めてきたものでした」とMさんは語り、回り道をしてでも余りある満足を手に入れたのです。

## 施主VOICE



小川さんに頼んでよかったと思うのは、センスや提案力はもちろんですが、常にこちらの味方になって施工業者さんと交渉してくださいとところも大きいです。施主と工務店との1対1のやりとりだと、こちらの知識のない部分は任せられないですからね。小川さんが間に立ってくれて、要望や疑問をなんでも遠慮なく伝えることができました。

## 穏やかな上質感に ポップセンスを効かせて

ナチュラル&ベーシックな家だから、存在感のある家具や雑貨がなじみます。側面の波のようなフォルムが美しいストリップ階段はMさんの第一の希望。冷暖房効率やお子さん・愛犬の安全を考えて大きなガラス戸で仕切ると、さらに目を引く一面になりました。玄関は、窓の位置を現場で入念に調整。「レ・クリント」のあかりが外へと柔かくこぼれます

